

## 「大凧まつり」を支援 ～舞い上がれ～

自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻 陸尉）は、5月5日（金）、相模川グラウンド（神奈川県座間市）で行われた「座間市大凧まつり」において募集広報を実施した。このイベントは、子供の成長を願う相模原市と座間市の伝統行事・伝統芸能として昭和57年に「かながわまつり50選」に選定、平成3年には国の選択無形民俗文化財に指定され、例年盛大に開催されるイベントである（座間市HPより一部引用）。当日は快晴に恵まれ、地元大凧保存会があげた「華風」と書かれた13メートル四方（1000畳）の大凧がタイミング良く風を捉え約120メートルの高さまで空高く舞い上がると、集まった多くの観光客から拍手や歓声が上がった。

自衛隊ブースでは、相模原地域事務所が募集相談コーナーを設置するとともに、陸上自衛隊座間駐屯地第4施設群の支援を受けて装備品展示を実施し、大人も子供も偵察用バイクにまたがり記念撮影するなど好評であった。

募集相談コーナーでは、自衛隊の仕事内容を説明し、「能力とやる気次第でいろいろな将来の選択肢があること、人と人の繋がりを大切にすること」が理解できたとの感想も聞かれた。

相模原地域事務所は、「今後も、地域と密接に連携した様々なイベントに参加して、自衛隊の活動を積極的にアピールしていきたい」としている。



## 相談員総会

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木 3 陸佐）は5月20日（土）、横浜上大岡募集相談員会が開催した総会を支援した。

新型コロナウイルス蔓延の影響もあり、4年ぶりに通常規模で開催され対面で行われた総会には多くの会員が参加し、久々の再会とあって嬉しそうに挨拶を交わしたり話したりしていた。

また、総会終了後には神奈川地方協力本部長 平井克英1等海佐による防衛講話が行われた。海洋国家たる日本の地政学的状況や海上自衛隊の役割、さらには海外任務の意義について具体的活動を踏まえて説明し、会員は写真やメモを取りながら真剣に耳を傾けていた。

上大岡募集案内所では、「今後も相談員と連携し協力を得ながら、多くの市民に自衛隊を理解してもらい、効果的な広報活動を実施したい。」とつづいて。

